

兵庫県弁護士会取調べの可視化市民集会

大阪地検特捜部事件から見える可視化の必要性 ～ジャーナリスト 江川紹子さんを迎えて～

兵庫県弁護士会では、取調べの一部録画ではなく、取調べの全過程の録画が必要であると考え、取調べの可視化（取調べの全過程の録画）の導入を含む刑事訴訟法改正の一刻も早い実現を目指して、国会や地方議会への働きかけ等、様々な活動を行ってまいりました。

このたび、ジャーナリストの江川紹子さんをお招きし、取調べの可視化の必要性について考え、実現を訴えるための集会を開催いたします。

江川紹子さんは、元厚労省局長事件から、証拠の偽造が発覚し、やがて大阪地検特捜部事件に至る全体を取材され続け、これらの事件について最もよく理解されているジャーナリストの一人です。

今回、大阪地検特捜部の元副部長が、自らの取調べの際、取調べの可視化を求めたという重要な事実に着目し、長く可視化を支援してきてくださった江川紹子さんから、この事件からも見える可視化の必要性について語っていただきます。

多数の皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成24年2月4日（土） 午後3時～5時（開場2時30分）

場所 兵庫県弁護士会館 4階講堂
神戸市中央区橋通 1-4-3

内容

1. 取調べの可視化についての現状報告
2. 講演

「大阪地検特捜部事件から見える
可視化の必要性」

講師 江川紹子さん

入場無料 予約不要
当日先着180名



※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。
高速神戸駅下車徒歩7分
JR神戸駅下車徒歩8分

お問い合わせ先 兵庫県弁護士会 TEL078-341-7061(代)